

2026年度 人権学習市民講座

※参加無料・定員 40人  
事前申し込み不要

テーマ 『インクルーシブ(教育)』ってなに?  
～真の共生社会をめざして～



近年、日本社会の人権(教育)に関わって、「インクルーシブ(教育)」、「多文化共生」、「ダイバーシティ」(\*多様性)というような言葉を見たり、聞いたりすることが多くなりました。しかし、私たちは、これらの意味や内容について、どれほど知っているでしょうか?そこで、昨年、一昨年は、「多文化共生」について皆さんと学習を深めましたが、今年度は、「インクルーシブ(教育)」(\*近年は特に、カタカナ横文字が多くてわかりにくいですね...)について、3人の方をお招きして皆さんと共に学び合いたいと企画しました。

第1回 6月10日(水) 午後1時30分～3時30分

テーマ 「特性をつかんでできることをのばす子育て」  
～何とかあった2人の息子たちの子育てをふり返って～



講師 小池 環<sup>たまき</sup>さん

兵庫県芦屋市生まれ。川西市育ち。結婚して京都府亀岡市で14年間暮らす間に、長男義典、次男慎吾が生まれ、共に障がいがあることが判明。一人の人間として自立できるよう模索しながらの子育てを経験しました。その体験を福祉への学びに繋げ、神戸親和女子大通信教育部福祉臨床学科を卒業。その後、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士の資格を取得。現在は市内で幅広く活動を行っています。

第2回 6月17日(水) 午後1時30分～3時30分

テーマ 「地域での共生を考える」  
～共生はちょっとした気づきから～



講師 高田 浩行<sup>ひろゆき</sup>さん(川西市社会福祉協議会 事務局長)

大学卒業後、某役所の福祉担当に配属。やりがいはあったものの「大学で学んだ地域福祉とちょっと違うなあ」と感じ、居住する箕面市の社会福祉協議会へ転職。28年間、地域福祉、ボランティア、障がい者、生活困窮者、ひきこもりなどの支援を担当。2019年度に、宝塚市社協へ移籍。2022年度に川西市社協へ移籍し、現在、事務局長を担っています。

第3回 6月29日(月) 午後1時30分～3時30分

テーマ 「私たちはなぜインクルーシブ教育をしなければならないのか」  
～大学生と接する中で感じること～



講師 一木 玲子<sup>いちき</sup>さん(東洋大学人間科学総合研究所客員研究員)

1968年京都府生まれ。大学時代から障がいのある人の介助など自立生活を共にする中で、分離教育制度の差別性に気づき、インクルーシブ教育研究の道へ。フィールドはイタリアと日本。著作に『国連はどうして特別支援教育中止を勧告したのかー障害者権利条約第1回審査と総括所見から』季刊福祉労働 2022年 などがあります。

★会場はすべて川西市総合センター(1階・視聴覚室)

川西市日高町 1-2 TEL 072-758-8398

- 主催 川西市人権啓発サポーター会・人権推進多文化共生課
- 後援 伊丹人権擁護委員協議会川西部会
- 手話・保育 ご希望の方は、6月3日(水)までに人権推進多文化共生課へ。
- 問い合わせ 市人権推進多文化共生課 TEL 072-740-1150

